

令和6年度 外国語科 授業改善推進プラン

大田区立池雪小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ①「知識・技能」面では、各レッスンに出てくる単語の読みや意味の理解については基本文型を繰り返して読んだり声に出して言ったりすることで成果が見られた。
- ②アルファベットの聞く・読む・書く活動の時間については、フォニックスや歌で口に出したりアルファベットの大文字と小文字をビンゴゲームを通して覚えたりした。
- ③「思考・判断・表現」面では、リスニングを長文、短文で聞かせて、教科書の中の問題を解くことで聞く力をつけてきた。また、アクティブラーニングの活動を実践するため、ペアやグループでの対話を昨年度より多く取り入れることができた。学期末のプレゼンテーションでは、課題に沿った発表を英語で伝え合うことができた。
- ④「主体的に学習に取り組む態度」面では、授業の初めと終わりのあいさつや時間割の紹介を輪番制で言ったり答えたりすることで、必然的に自ら進んで授業に取り組むことができた。また、ゲームや英語の歌などを授業に取り入れることで、児童の意欲や関心を高めることができた。

(2) 課題

- ①「知識・技能」面では、アルファベットの大文字や小文字を確実に読んだり書いたりすることができていない児童が多い。そのため、フォニックスや歌、読む練習や書く練習の時間を設定する必要がある。
- ②「思考・判断・表現」面では、英語を使った発表をする場面で、自信をもって意欲的に表現することができない児童が多い。そのため、ペアやグループでの対話の時間を増やしたりプレゼンテーション以外の全体の場での発表の時間を設定したりして表現をすることに慣れさせる必要がある。
- ③「主体的に学習に取り組む態度」面では、主体的に英語の学習に取り組めない児童が見受けられるため、ゲームや歌、英語の本の読み聞かせや物語の視聴などを取り入れながら、活動の工夫も取り入れる必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

第6学年

- ・平均正答率と中央値が、目標値を上回っている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・チャンツ、歌、アクティビティー、読み聞かせなどの活動を通して、楽しく理解できるようにする。	・体を動かしながら楽しい雰囲気の中で、英語で表現する機会を増やすようにする。	・進んで学習に取り組めるように、一人一人の活動を観察しながら、学習形態にも変化をもたせるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・自分の名前を正確にローマ字で書けるようにする。・デジタル教材やゲームなどの活動を通してアルファベットを理解させる。	<ul style="list-style-type: none">・フォニックスでの活動を継続させ、基本構文を中心とした会話などをペアやグループで繰り返し行う。	<ul style="list-style-type: none">・自主的に取り組めるように、チャンツや学習形態にも変化をもたせるようにする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・デジタル教材などを使って、フォニックスやアルファベットの読み書きを練習させる。・学期に1回程度、池雪いきいき応援隊の中の英語ボランティアの方々に授業のサポート等を依頼している。・既習の表現や単語などの復習を読み、書きなどの練習を通して、理解させる。	<ul style="list-style-type: none">・既習の重要構文を中心に復習をしながら、英語の文章を書いたり読んだりさせる。・既習表現を使いながら、簡単な英語のスピーチをさせる。・毎時間の授業中での単語やスピーチの発音などをALTと練習したり確認したりしながら、英語の音声に慣れ親しませる。	<ul style="list-style-type: none">・既習表現を使ったゲームやアクティビティーなどを取り入れながら、自主的に学習に取り組めるように工夫する。・英語の絵本の読み聞かせや子どもたちが興味や関心をもつような英語版の映画などを取り入れるようにする。